

## 4 推進体制

本市産業振興ビジョンの着実な遂行に当たって、市及び各務原商工会議所は、市産業政策室及びテクノプラザに設置する産業高度化支援センターが中心となり、商工会議所中小企業相談所と一体的に、企業が抱える課題、現場の生の声を把握する「現場主義」を基本姿勢として進めていく。

その際、市内企業及び各種商工団体、市民・NPO等との協働のみならず、岐阜県において進める産業振興ビジョンに基づく各種取り組みとの連動を十分図りながら、国、大学等高等教育機関、公設試験研究機関、産業支援機関等との密接な連携の下、限られた資源を集中し、効率的に実施していく。

こうした協働・連携体制を強固なものとするため、毎年度の産業振興行動計画を策定・周知し、関係者との情報共有を図りながら、進めていく。

さらに、本市経済の現状や産学官民の取り組み等の実態把握の下、産業振興ビジョンの進捗状況について、市内産業界、学識経験者、NPO、行政から組織する「各務原市産業振興懇談会」を設置の下、その評価を行いながら、柔軟な見直しを図っていく。こうしたP D C Aサイクル\*（計画（PLAN）－実行（DO）－点検・評価（CHECK）－計画カイゼン（ACTION））を機能させながら、産業振興ビジョンを成長発展させていく

※P D C Aサイクル（計画（PLAN）－実行（DO）－点検・評価（CHECK）－計画カイゼン（ACTION））は、品質向上のためのシステムの考え方。品質管理計画を作成、実行し、その結果を内部で検討し、是正した上でさらにもとの計画に反映していくことで、品質の維持・向上や環境の継続的改善を図ろうとするもの。

